2018
9.9
SUN

くまもとアートポリスプロジェクト

南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発
グランドデザイン 公募型プロポーザル

開催場所｜高森総合センター 2階 大会議室

審査員長｜伊東 豊雄（建築家・くまもとアートポリスコミッショナー）

審 査 員｜草村 大成（高森町長）
田上 更生（高森町議会議長）
津留 恒誉（南阿蘇鉄道専務取締役）
桂　 英昭（建築家・くまもとアートポリスアドバイザー）
末廣 香織（建築家・くまもとアートポリスアドバイザー）
曽我部 昌史（建築家・くまもとアートポリスアドバイザー）

「定住」・「観光」・「防災」を
キーワードにした
高森駅周辺のグランドデザインを作成。

平成28年4月14日、16日の2度に亘って最大震度７の揺れが発生した熊本地震。この地震により阿蘇郡高森町の高森駅と南阿蘇村の立野駅を結ぶ「南阿蘇鉄道」も甚大な被害を受けた。地域の公共交通の基軸であり、基幹産業である観光業を支える南阿蘇鉄道の復旧は、この地域の復興の鍵となる。高森町は阿蘇地域の創造的復興の一環として、南阿蘇鉄道の高森駅とその周辺を対象にグランドデザインを作成するため、くまもとアートポリス事業に参加してまちづくり戦略の３つの柱である「定住」・「観光」・「防災」をキーワードに公募型プロポーザルを実施した。

全国から39件の応募があり、一次審査で二次審査に進む５者を選定。平成30年９月９日に高森総合センターにおいて公開審査（来場者約150名）を開催した。

公開審査の模様は、高森ポイントチャンネル（TPC）で高森町の全世帯に生放送された。審査では、伊東審査員長らの選考により、最優秀賞に『株式会社ヌーブ』、優秀賞に『千葉 学』、佳作に『有限会社アトリエ・シムサ一級建築士事務所』、『シーラカンスアンドアソシエイツ・セルアーキテクト共同企業体』『納谷建築設計事務所』の３者を選定した。

プロポーザルの概要

6月　5日（火）	募集要項発表
6月16日（土）	現地見学会を開催
7月31日（火）	応募締切
8月上旬	一次審査（非公開）
9月　9日（日）	二次審査（公開）

事業概要

- 事業主体　高森町
- 計 画 地　高森駅及び駅周辺
- 敷地面積　約7,350㎡
- グランドデザインの計画内容
  ① 高森駅舎の建替え
  ② 高森駅周辺広場の公園化

最優秀賞　株式会社ヌーブ

“とにかく広いプラットフォーム”から高森町と阿蘇の魅力を発信し、プラットフォームでの豊かな交流を生む。

優 秀 賞　千葉　学

自然環境資源、文化資源とこれらを支える人的資源を最大限に活用し、これまでにない新しい未来のまちの姿を提案する。

佳　　作　有限会社アトリエ・シムサ一級建築士事務所

既存駅舎の塔を再利用し、地域に根差したシンボルをつくる。変化を受け入れながら成長する広場づくりを目指す。

佳　　作　シーラカンスアンドアソシエイツ・セルアーキテクト共同企業体

広大な草原風景と阿蘇への眺望を生かし、ホームと一体的な“みんなのひろば”で高森町だからこその風景を生み出す。

佳　　作　納谷建築設計事務所

トロッコ列車を敷地内に引き込み、駅と公園を一体として、人々、交通、情報、コミュニティすべてが集まる場所をつくる。

受賞者コメント

最優秀賞　株式会社ヌーブ（東京都）

高森駅の敷地の最大の特徴は、西に緩やかに下がっていくカルデラが見渡せること。雄大な風景に夕陽が落ちるなか、トロッコ列車が入線する稀有な条件です。最優秀賞に選んでいただいた私たちの案は、駅舎、交流施設、回廊で「とにかく広いプラットフォーム」を囲み、夕陽とトロッコを見ようというものです。ワークショップや勉強会を重ね、まちの皆さんと夢のような景観を実現していきたいと思います。

※パースは、提案内容をイメージ化したものです。

プロジェクト進行中！

グランドデザインの策定に向けて
町民の皆さんと「ワークショップ」を開催！

昨年秋から、町民の皆さんと全５回のワークショップ（WS）を開催し、意見や要望を汲み取りながら、グランドデザインの検討が進められている。WSでは「観光」や「防災」といった広いテーマでも開催され、地元高森高校の生徒の皆さんとの意見交換も行った。

プロポーザルで提案した「とにかく広いプラットフォーム」のある駅が、町の皆さんに愛される駅となるよう、設計が進められている。